

第19期

運用報告書(全体版)

DCワールド・ソブリンインカム 確定拠出年金専用

【2025年2月25日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「DCワールド・ソブリンインカム」は、2025年2月25日に第19期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1
ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2006年2月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	当ファンドは、ワールド・ソブリンインカムマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に分散投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、実質外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準、経済的合理性等を勘案して決定します。分配金は、決算日の基準価額で再投資します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金	期 騰 落	中 率			
	円	円	円	%	ポイント	%	%	百万円
15期(2021年2月25日)	13,720		0	△ 0.4	447.49	0.9	94.2	105
16期(2022年2月25日)	13,597		0	△ 0.9	450.47	0.7	93.9	112
17期(2023年2月27日)	13,274		0	△ 2.4	450.23	△ 0.1	95.4	104
18期(2024年2月26日)	14,876		0	12.1	510.11	13.3	96.0	114
19期(2025年2月25日)	14,976		0	0.7	513.93	0.7	94.0	116

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。(以下同じ。)

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

DCワールド・ソブリンインカム(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。

本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

○当期中の基準価額と市況等の推移

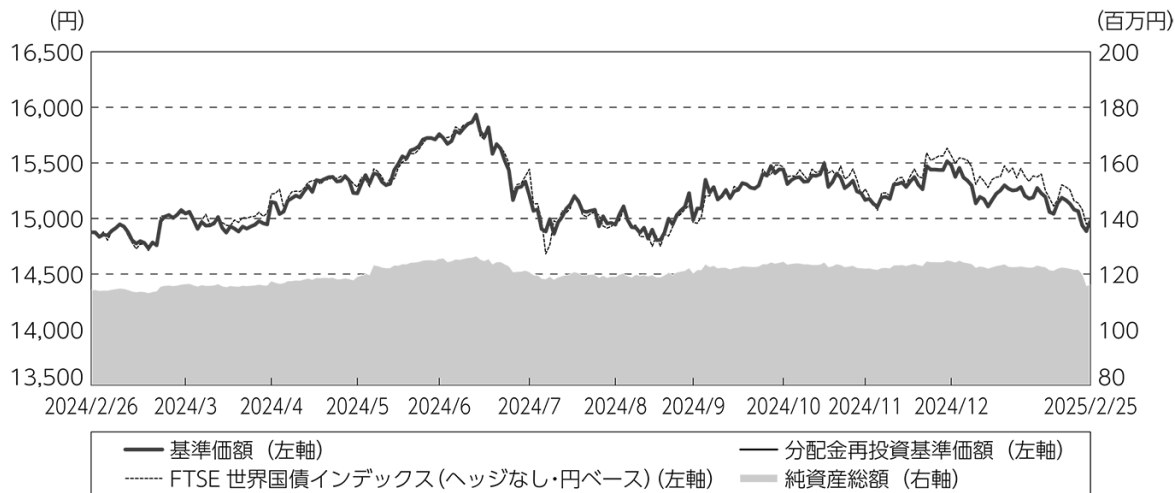
年 月 日	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落 率		騰 落 率				
(期 首) 2024年2月26日	円 14,876	% —	ポイント 510.11	% —	% 96.0	% —	% —	% —
2月末	14,856	△0.1	510.22	0.0	96.2	—	—	—
3月末	15,045	1.1	515.61	1.1	93.6	—	—	—
4月末	15,149	1.8	521.86	2.3	89.7	—	—	—
5月末	15,226	2.4	524.04	2.7	91.1	—	—	—
6月末	15,759	5.9	539.51	5.8	89.9	—	—	—
7月末	15,209	2.2	529.58	3.8	91.5	—	—	—
8月末	14,945	0.5	513.27	0.6	96.9	—	—	—
9月末	14,987	0.7	513.16	0.6	97.8	—	—	—
10月末	15,441	3.8	530.22	3.9	91.2	—	—	—
11月末	15,167	2.0	523.50	2.6	93.5	—	—	—
12月末	15,481	4.1	533.81	4.6	96.0	—	—	—
2025年1月末	15,179	2.0	525.79	3.1	88.2	—	—	—
(期 末) 2025年2月25日	14,976	0.7	513.93	0.7	94.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年2月27日～2025年2月25日)



期首：14,876円

期末：14,976円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 0.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2024年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・海外の国債に投資することにより安定的な利息収入を確保したことに加え、保有していたイタリア国債、カナダ国債、一部の米国債の利回りが低下し、価格が上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロやカナダドルが対円で下落したこと。

投資環境

(2024年2月27日～2025年2月25日)

<投資国の債券市場>

海外の債券市場では、各中央銀行が金融緩和を実施したことを受けて、短期債の利回りが低下（価格は上昇）しました。特に、利下げ幅が最も大きかったカナダの短期債利回りの低下が顕著となりました。一方、長期債に関しては、カナダとイタリアにおいて低下したものの、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利、欧州での政局不安や財政拡大への懸念、インフレ率の高止まりなどを背景に、他の投資国では利回りが上昇（価格は下落）しました。国内債券市場では、日銀が段階的に利上げを実施したことを受けて、短期債、長期債ともに利回り上昇が鮮明となりました。

<為替市場>

為替市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）などの海外の主要中央銀行と日銀の金融政策を睨んで、円が投資通貨に対し大きく上下する展開となりました。特に、米ドルに対しては、期初の150円前半から2024年7月上旬に162円近辺まで円安が進行した後、9月中旬には一時140円割れまで円高が進行するなど激しい値動きとなる場面が見られました。当期における各投資通貨の対円での騰落率は、カナダドルが5%台のマイナス、ユーロとオーストラリアドルが3%程度のマイナス、米ドルとイギリスポンドが1%未満の小幅なマイナスとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年2月27日～2025年2月25日)

<DCワールド・ソブリンインカム>

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

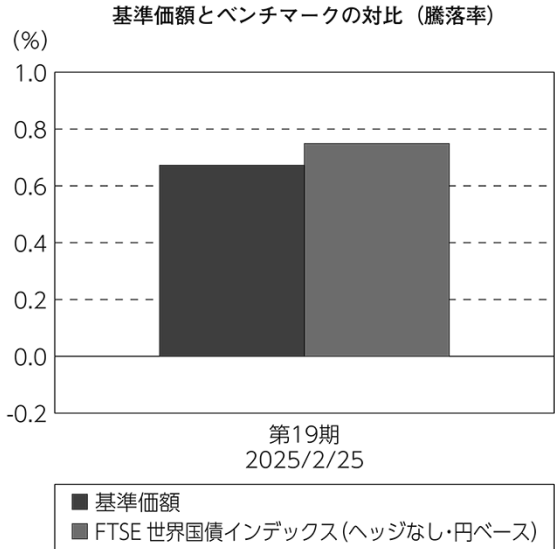
8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.53年～8.02年の範囲内での推移となり、期末は7.44年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は84.5%～96.1%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、イギリスポンド、カナダドル、ユーロ、米ドルは高め、円は低めとなりました。一方、中国人民元、メキシコペソなどは、ベンチマークの構成通貨となっていますが、当ファンドでは投資していません。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年2月27日～2025年2月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.08%下回りました。ベンチマークと比較し利回り上昇が顕著となった日本国債に関し、投資比率を低めに維持するとともにデュレーションを短めで推移させたことなどがプラスとなりました。一方、信託報酬等の費用がマイナスとなりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

(2024年2月27日～2025年2月25日)

当期の分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準、経済的合理性等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第19期
	2024年2月27日～ 2025年2月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,407

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

海外の債券市場では、ベッセント米財務長官が財政赤字削減やエネルギー増産を通じてインフレ抑制を目指す姿勢を鮮明にしていることに加え、トランプ政権の関税政策がグローバル経済の先行き不透明感を強める要因となっていることから、各国の債券利回りに低下余地が残されていると見ています。一方、国内の債券市場では、インフレ率の高止まりなどを背景に日銀の追加利上げが想定されることから、緩やかな利回りの上昇を想定しています。

為替市場では、内外金利差の縮小を背景に短期的に円高圧力が強まる場面があると見ています。しかし、今後の日銀の利上げペースが非常に緩やかなものにとどまると予想されることから、日本ではインフレ率と政策金利の差である実質政策金利が依然として大幅なマイナスが続く見通しです。また、日本の消費者や企業が海外のデジタルサービスを利用することで生じるデジタル赤字の拡大など、構造的な円売り圧力も根強いことから、中長期的には円安局面が続く可能性が高いと判断しています。

(運用方針)

<DCワールド・ソブリンインカム>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年2月27日～2025年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	142	0.932	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(53)	(0.351)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(80)	(0.527)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.024	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	146	0.956	
期中の平均基準価額は、15,203円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

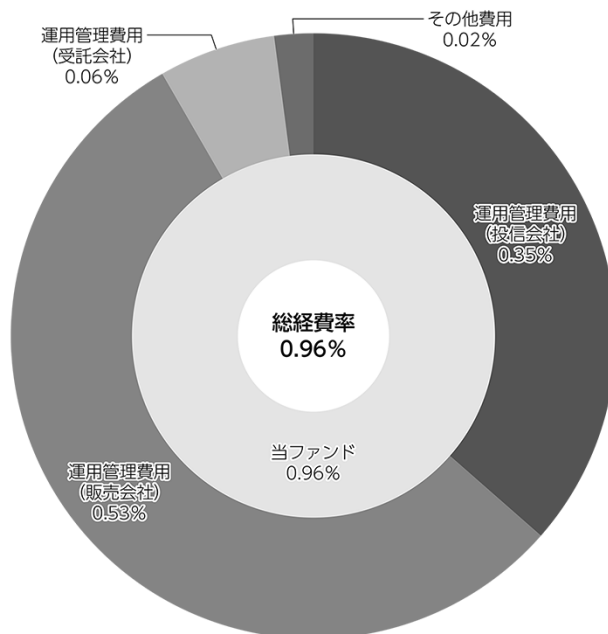
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.96%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月27日～2025年2月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 3,981	千円 9,421	千口 3,841	千円 9,070

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月27日～2025年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年2月25日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 49,270	千口 49,410	千円 115,720

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 115,720	% 95.8
コール・ローン等、その他	5,099	4.2
投資信託財産総額	120,819	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(42,232,157千円)の投資信託財産総額(46,262,037千円)に対する比率は91.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=150.23円、1カナダドル=105.26円、1ユーロ=157.19円、1イギリスポンド=189.59円、1オーストラリアドル=95.25円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	120,819,519
コール・ローン等	5,099,232
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(評価額)	115,720,229
未収利息	58
(B) 負債	4,488,814
未払解約金	3,909,916
未払信託報酬	570,892
その他未払費用	8,006
(C) 純資産総額(A-B)	116,330,705
元本	77,678,770
次期繰越損益金	38,651,935
(D) 受益権総口数	77,678,770口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,976円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,4976円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は76,793,383円、期中追加設定元本額は8,902,170円、期中一部解約元本額は8,016,783円です。

○損益の状況 (2024年2月27日～2025年2月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,439
受取利息	1,439
(B) 有価証券売買損益	1,618,851
売買益	1,826,325
売買損	△ 207,474
(C) 信託報酬等	△ 1,139,789
(D) 当期損益金(A+B+C)	480,501
(E) 前期繰越損益金	13,381,352
(F) 追加信託差損益金	24,790,082
(配当等相当額)	(45,022,891)
(売買損益相当額)	(△20,232,809)
(G) 計(D+E+F)	38,651,935
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	38,651,935
追加信託差損益金	24,790,082
(配当等相当額)	(45,045,090)
(売買損益相当額)	(△20,255,008)
分配準備積立金	20,260,184
繰越損益金	△ 6,398,331

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第19期
(a) 配当等収益(費用控除後)	2,771,590円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	45,045,090円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	17,488,594円
分配対象収益(a+b+c+d)	65,305,274円
分配対象収益(1万口当たり)	8,407円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2025年2月25日現在）

＜ワールド・ソブリンインカム マザーファンド＞

下記は、ワールド・ソブリンインカム マザーファンド全体(19,753,210千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,000,000 (1,000,000)	1,914,145 (974,420)	4.1 (2.1)	— (—)	2.0 (—)	2.1 (2.1)	— (—)
合 計	2,000,000 (1,000,000)	1,914,145 (974,420)	4.1 (2.1)	— (—)	2.0 (—)	2.1 (2.1)	— (—)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第351回利付国債 (10年)	0.1	1,000,000	974,420	2028/6/20
第363回利付国債 (10年)	0.1	500,000	470,625	2031/6/20
第364回利付国債 (10年)	0.1	500,000	469,100	2031/9/20
合 計		2,000,000	1,914,145	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期				末			
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 123,000	千米ドル 118,414	千円 17,789,438	% 38.5	% —	% 31.3	% 3.2	% 3.9
カナダ	千カナダドル 25,000	千カナダドル 23,528	2,476,599	5.4	—	5.4	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	27,000	26,321	4,137,432	8.9	—	8.9	—	—
イタリア	33,000	34,667	5,449,434	11.8	—	9.7	2.1	—
フランス	27,000	25,224	3,965,081	8.6	—	3.1	3.1	2.4
イギリス	千イギリスポンド 19,000	千イギリスポンド 16,666	3,159,763	6.8	—	5.6	—	1.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 55,100	千オーストラリアドル 50,649	4,824,351	10.4	—	9.2	—	1.2
合 計	—	—	41,802,101	90.4	—	73.2	8.4	8.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

DCワールド・ソブリンインカム

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	16,000	11,645	1,749,428	2041/5/15	
	US TREASURY N/B 3.625	3.625	10,000	9,606	1,443,146	2031/9/30	
	US TREASURY N/B 3.875	3.875	17,000	16,317	2,451,354	2034/8/15	
	US TREASURY N/B 4	4.0	12,000	11,959	1,796,633	2027/1/15	
	US TREASURY N/B 4.25	4.25	10,000	10,006	1,503,238	2029/6/30	
	US TREASURY N/B 4.375	4.375	22,000	21,965	3,299,895	2034/5/15	
	US TREASURY N/B 4.5	4.5	15,000	14,601	2,193,592	2054/11/15	
	US TREASURY N/B 4.625	4.625	6,000	5,949	893,774	2054/5/15	
US TREASURY N/B 6.25	6.25	15,000	16,364	2,458,373	2030/5/15		
小 計					17,789,438		
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	12,000	11,253	1,184,490	2032/6/1	
	CANADA-GOV'T 2	2.0	3,000	2,318	244,034	2051/12/1	
	CANADA-GOV'T 3	3.0	10,000	9,957	1,048,073	2034/6/1	
小 計					2,476,599		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 2.3	2.3	15,000	14,931	2,347,051	2033/2/15
		DEUTSCHLAND REP 2.5	2.5	12,000	11,389	1,790,381	2054/8/15
イタリア	国債証券	BTPS 3.4	3.4	6,000	6,152	967,095	2028/4/1
		BTPS 3.45	3.45	10,000	10,190	1,601,781	2031/7/15
		BTPS 4.4	4.4	17,000	18,325	2,880,557	2033/5/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	5,000	3,219	506,081	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	7,000	7,030	1,105,149	2026/9/24
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	9,000	9,065	1,424,980	2029/2/25
		FRANCE O. A. T. 3	3.0	6,000	5,909	928,870	2034/11/25
小 計					13,551,948		
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
国債証券	UK TSY GILT 3.25	3.25	8,000	7,359	1,395,215	2033/1/31	
	UK TSY GILT 3.5	3.5	3,000	2,982	565,414	2025/10/22	
	UK TSY GILT 3.75	3.75	8,000	6,324	1,199,133	2053/10/22	
小 計					3,159,763		
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 0.25	0.25	6,100	5,890	561,062	2025/11/21	
	AUSTRALIAN GOVT. 3	3.0	24,000	21,613	2,058,703	2033/11/21	
	AUSTRALIAN GOVT. 3.5	3.5	25,000	23,145	2,204,585	2034/12/21	
小 計					4,824,351		
合 計					41,802,101		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第22期 運用状況のご報告
決算日：2024年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	騰落	中率	(ベンチマーク)	騰落率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
18期(2020年3月25日)	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—	90,359
19期(2021年3月25日)	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—	84,082
20期(2022年3月25日)	21,164	2.0	461.28	1.9	90.7	—	69,040
21期(2023年3月27日)	20,501	△ 3.1	450.91	△ 2.2	87.7	—	53,865
22期(2024年3月25日)	23,302	13.7	515.05	14.2	92.1	—	52,236

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

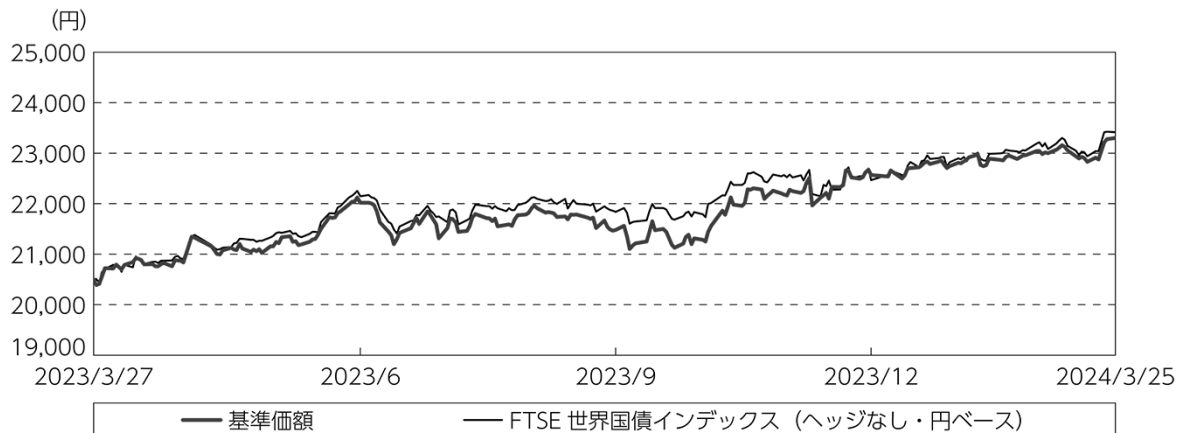
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2023年3月27日	円	%	ポイント	%	%	%
	20,501	—	450.91	—	87.7	—
3月末	20,723	1.1	455.47	1.0	88.0	—
4月末	20,837	1.6	459.83	2.0	86.1	—
5月末	21,244	3.6	471.07	4.5	88.6	—
6月末	22,018	7.4	487.09	8.0	89.1	—
7月末	21,520	5.0	475.81	5.5	86.5	—
8月末	21,967	7.2	486.67	7.9	89.1	—
9月末	21,478	4.8	480.34	6.5	93.3	—
10月末	21,251	3.7	477.98	6.0	95.1	—
11月末	22,275	8.7	496.52	10.1	89.7	—
12月末	22,566	10.1	494.12	9.6	89.8	—
2024年1月末	22,837	11.4	504.27	11.8	95.7	—
2月末	23,015	12.3	510.22	13.2	96.8	—
(期末) 2024年3月25日	23,302	13.7	515.05	14.2	92.1	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年3月28日～2024年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2023年3月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ 海外の国債に投資することにより安定的な利息収入を確保したことに加え、イタリアの中長期国債の利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したこと。
- ・ 投資している全ての外国通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ イタリアを除く投資国の国債利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。

投資環境

(2023年3月28日～2024年3月25日)

〈投資国の債券市場〉

海外の債券市場では、2023年3月に台頭した欧米の金融システムへの懸念が後退したことや、海外の主要中央銀行が利上げに前向きなタカ派姿勢を鮮明にしたことを受けて、10月下旬までは利回りの上昇（価格は下落）基調が鮮明となりました。しかしその後は、米国やユーロ圏で早期利下げを織り込む動きが徐々に強まり、年末にかけて利回りが急低下（価格は急上昇）しました。2024年の年明け以降は、米国やユーロ圏での早期利下げ観測が後退したことなどから、各投資国の債券利回りは総じて上昇傾向となりました。この結果、当期における海外の投資国の10年国債利回りは、イタリアを除く全ての国で上昇しました。国内債券市場では、日銀による長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）の運用柔軟化に加え、マイナス金利解除を織り込む動きが強まったことから、10年国債利回りが上昇しました。

〈為替市場〉

為替市場では、欧米の金融システムへの懸念が後退したことや、海外金利の上昇に伴い内外金利差が拡大したことなどを受けて、2023年11月中旬までは投資通貨に対し円が全面安の展開となりました。その後年末にかけては、米国の早期利下げを織り込む動きが徐々に強まるなかで、円が米ドルに対し急伸するとともに、他の投資通貨に対しても円高が進行しました。2024年の年明け以降は、海外金利が上昇に転じたことに加え、日銀がマイナス金利解除後も緩やかな金融環境を維持するとの見方が強まったことなどから、再び投資通貨に対する円安傾向が鮮明となりました。この結果、当期においては、投資している全ての外国通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年3月28日～2024年3月25日)

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.50年～8.41年の範囲内での推移となり、期末は7.72年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は83.5%～96.1%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、ユーロ、イギリスポンドが高め、米ドル、円が同程度となりました。一方、中国人民元、メキシコペソなどは、ベンチマークの構成通貨となっていますが、当ファンドでは投資していません。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年3月28日～2024年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.5%下回りました。債券要因では、海外の投資国の国債利回りが総じて上昇する中、ベンチマークと比較し海外の投資国のデュレーションを長めで推移させたことがマイナスとなりました。為替要因では、各投資通貨に対し大幅な円安が進行する中、相場動向に応じて通貨配分を調整しましたが、ベンチマークを小幅に下回るパフォーマンスとなりました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

海外の債券市場では、2024年央以降、米国やユーロ圏の利下げ局面入りが予想されることから、緩やかな利回り低下が進行しやすいと見えています。一方、国内では日銀が異次元緩和からの脱却を決定したことから、今後も追加利上げに踏み切る公算が高く、各年限の債券利回りに上昇圧力がかかると判断しています。

為替市場では、日銀のマイナス金利解除後も、短期ゾーンを中心に内外金利差が高水準で維持されていることから、円売りポジションの構築に有利な投資環境であることに変化はなく、円安地合いが維持される可能性が高いと見えています。一方、一段の円安が進行した場合は、政府・日銀が為替介入（米ドル売り・円買い）に踏み切ることも想定され、為替市場における変動率が拡大する場面もあると考えています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年3月28日～2024年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.011	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.011	
期中の平均基準価額は、21,810円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2023年3月28日～2024年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 -	千円 475,205
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 248,178	千米ドル 254,561
	カナダ	国債証券	千カナダドル 25,613	千カナダドル 35,897
	ユーロ		千ユーロ 29,109	千ユーロ 43,202
	ドイツ	国債証券	30,433	33,556
	イタリア	国債証券	8,865	10,022
	フランス	国債証券		(3,000)
イギリス	国債証券	千イギリスポンド 24,260	千イギリスポンド 18,797	
オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 87,901	千オーストラリアドル 82,906	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月28日～2024年3月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月25日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,000,000	969,855	1.9	—	1.9	—	—
合 計	1,000,000	969,855	1.9	—	1.9	—	—

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第363回利付国債 (10年)	0.1	500,000	485,690	2031/6/20	
第364回利付国債 (10年)	0.1	500,000	484,165	2031/9/20	
合 計		1,000,000	969,855		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 152,000	千米ドル 147,800	千円 22,381,401	% 42.8	% —	% 30.8	% 12.1	% —
カナダ	千カナダドル 15,000	千カナダドル 13,032	1,449,419	2.8	—	2.8	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	48,000	39,804	6,512,034	12.5	—	7.0	5.5	—
イタリア	8,000	8,545	1,398,033	2.7	—	2.7	—	—
フランス	48,000	44,114	7,217,097	13.8	—	9.4	4.4	—
イギリス	千イギリスポンド 20,000	千イギリスポンド 18,742	3,574,458	6.8	—	4.7	—	2.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 50,000	千オーストラリアドル 46,629	4,599,543	8.8	—	6.9	—	1.9
合 計	—	—	47,131,988	90.2	—	64.2	22.0	4.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	16,000	11,770	1,782,331	2041/5/15	
	US TREASURY N/B 3.375	3.375	24,000	22,492	3,406,039	2033/5/15	
	US TREASURY N/B 3.625	3.625	12,000	11,713	1,773,718	2028/5/31	
	US TREASURY N/B 3.625	3.625	7,000	6,109	925,189	2053/2/15	
	US TREASURY N/B 4	4.0	8,000	7,917	1,198,947	2027/1/15	
	US TREASURY N/B 4	4.0	20,000	19,678	2,979,858	2034/2/15	
	US TREASURY N/B 4.25	4.25	22,000	22,063	3,341,090	2029/2/28	
	US TREASURY N/B 4.25	4.25	6,000	5,870	888,988	2054/2/15	
	US TREASURY N/B 4.75	4.75	17,000	18,049	2,733,193	2053/11/15	
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	20,000	22,135	3,352,045	2030/5/15	
小 計					22,381,401		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
国債証券	CANADA-GOV' T 2	2.0	12,000	10,775	1,198,466	2032/6/1	
	CANADA-GOV' T 2	2.0	3,000	2,256	250,952	2051/12/1	
小 計					1,449,419		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券	BUNDESUBL-186 1.3	1.3	8,000	7,697	1,259,301	2027/10/15
		DEUTSCHLAND REP 0	—	5,000	4,192	685,884	2032/2/15

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0	—	16,000	8,052	1,317,464	2052/8/15
		DEUTSCHLAND REP 2.3	2.3	10,000	10,010	1,637,783	2033/2/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	9,000	9,850	1,611,600	2028/7/4
イタリア	国債証券	BTPS 4.4	4.4	8,000	8,545	1,398,033	2033/5/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	10,000	7,007	1,146,361	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2	2.0	14,000	13,222	2,163,236	2032/11/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	9,000	8,935	1,461,842	2026/9/24
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	10,000	9,936	1,625,660	2030/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	5,000	5,012	819,995	2027/10/25
小 計						15,127,166	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 3.25	3.25	6,000	5,723	1,091,589	2033/1/31
		UK TSY GILT 3.5	3.5	6,000	5,913	1,127,851	2025/10/22
		UK TSY GILT 3.75	3.75	8,000	7,105	1,355,017	2053/10/22
小 計						3,574,458	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 3	3.0	40,000	36,708	3,620,877	2033/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	10,000	9,921	978,666	2025/4/21
小 計						4,599,543	
合 計						47,131,988	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 48,101,843	% 92.1
コール・ローン等、その他	4,134,914	7.9
投資信託財産総額	52,236,757	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (47,663,211千円) の投資信託財産総額 (52,236,757千円) に対する比率は91.2%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝151.43円、1カナダドル＝111.22円、1ユーロ＝163.60円、1イギリスポンド＝190.71円、1オーストラリアドル＝98.64円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月25日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	52,236,757,819	
コール・ローン等	3,603,711,841	
公社債(評価額)	48,101,843,620	
未収利息	472,923,798	
前払費用	58,278,560	
(B) 負債	16,220	
その他未払費用	16,220	
(C) 純資産総額(A-B)	52,236,741,599	
元本	22,417,185,041	
次期繰越損益金	29,819,556,558	
(D) 受益権総口数	22,417,185,041口	
1万口当たり基準価額(C/D)	23,302円	

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.3302円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は26,274,009,204円、期中追加設定元本額は13,926,638円、期中一部解約元本額は3,870,750,801円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
 ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)

	21,385,066,891円
Wソブリン毎月分配型(一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	473,939,766円
私募ソブリン15-01(適格機関投資家専用)	218,105,949円
ワールド・ソブリンインカム(1年決算型)	176,765,167円
ソブリンオープン(適格機関投資家専用)	113,824,840円
DCワールド・ソブリンインカム	49,482,428円

○損益の状況 (2023年3月28日～2024年3月25日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,627,161,808	
受取利息	1,628,861,618	
その他収益金	22,966	
支払利息	△ 1,722,776	
(B) 有価証券売買損益	5,196,590,600	
売買益	7,693,576,945	
売買損	△ 2,496,986,345	
(C) その他費用等	△ 6,005,850	
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,817,746,558	
(E) 前期繰越損益金	27,591,146,799	
(F) 追加信託差損益金	16,377,946	
(G) 解約差損益金	△ 4,605,714,745	
(H) 計(D+E+F+G)	29,819,556,558	
次期繰越損益金(H)	29,819,556,558	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

SBI 岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2023年7月1日)

〈当ファンドのベンチマークについて〉

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。

本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a)本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b)当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI 岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。